



小川小 道徳だより

第3号 平成26年11月7日発行

子どもたちの活動の様子から②

4年生の宿泊学習、6年生の修学旅行や全校行事など、子どもたちにとって楽しい行事がたくさんあった10月でした。まもなく、学習発表会が行われます。各クラスでも、一生懸命にがんばっている様子が見られます。学習発表会を通して、クラスでの助け合いや継続して努力する気持ちを高めていきたいと思っています。

4 年生宿泊学習から

・山登りで傾斜のある場所を歩いている途中、やさしく手をさしのべてあげる児童がいました。みんなで完歩した山登り。達成感があったことでしょう。

・なす高原自然の家では班長を中心に、きまりをよく守り生活できました。周りをよく見て、声をかけている場面がたくさんありました。



6 年生修学旅行から

・具合が悪くなった同じ班の友達に優しく接している児童がみられました。場所が違って、学校と同じ行動がとれたことが素晴らしかったです。

・家族をはじめ、自分がお世話になっている方にお土産を買っていました。相手を考えて選んでいる様子が、ほほえましかったです。

学校の「道徳の時間」ってどんな時間？

人は誰でも素晴らしい人生を送りたいと願っています。自分が人間としてどのように生きるべきかを考えることはとても大切なことです。そのために、学校では、週に1回、「道徳の時間」の授業があります。

第2号でお知らせしたように、「道徳の時間」では、読み物や時には映像などの資料を活用して授業を行っています。様々な項目が設定され、年間の指導計画の中には4つの大きな柱の中に、発達段階に応じた項目があります。それらを授業の中で行い、これからどのように生きればよいのかを学んでいきます。

- ① 主として、自分自身に関すること
- ② 主として、他の人とのかかわりに関すること
- ③ 主として、自然や崇高なものとのかかわりに関すること
- ④ 主として、集団や社会とのかかわりに関すること



この4つの視点に基づき、さらに細かく分けられた項目（①～④の中にもそれぞれ学年に応じていくつかの項目があります。）にそった資料を基に、子どもたちが自分の思いを考えたり、相談したり、書いたり、発表したりすることによって、それぞれの考えを深めていきます。「自分はこう思う。」というように自分の考えを発表するとともに、友達の発表を聞いてさまざまな考えがあることを知り、多様な考え方を学んでいきます。